

学校 通信 4-6		かけはし	教育目標 ○学び合う子 ○つながり、 支え合う子 ○たかましい子	武蔵村山市立 第九小学校 校長 吉成かおる 令和4年9月30日
-----------------	---	------	--	--

運動会実施に当たって

副校長 日吉 英智

明日の10月1日（土）は、本校の第43回運動会が実施されます。（雨天等の場合、2日へ順延となります。）

子供たちは、夏休み明けから明日の本番まで、表現種目、走競技の準備や練習を行ってきました。各学年、児童の発達段階に合わせた表現種目に取り組んできました。

1・2年生の表現種目は、「えがおをおとどけ！～タッタダンス～」です。低学年らしい可愛らしいダンスの中に、難しいステップが組み込まれています。キラキラ光るポンポンを持って踊る姿を御覧ください。

3・4年生の表現種目は、「にーふぁいゆー九小～エイサー2022～」です。沖縄の伝統的な舞踊のエイサーという踊りになります。太鼓を持ち、振りを大きく踊ります。元気良く踊る姿を御覧ください。

5・6年生の表現種目は、「フラッグ～挑戦～」です。これまでの組体操のようなものではなく、その名の通り、旗を用いたマスゲームに挑戦します。カラフルな旗を使った優雅な表現にご注目ください。

保護者の皆様が小学生の頃から、小学校の運動会では表現種目は行われていたと思います。

小学校の学習指導要領の体育の各学年の目標及び内容において、1・2年生については「表現リズム遊び」、3年生以上については「表現運動」に取り組むことが明記されています。さらにその具体的な内容に「誰とでも仲良く踊る」ということや「互いの良さを認め合い、助け合う」ということがあります。

私は、運動会の中で表現種目を行うことは、とても大きな意味があると思っています。もちろん、体育の学習の一環ですから、大きく元気な振り付けて体を動かすということに一番の意味があります。さらに加えて、表現種目を通して、参加しているみんなで一つのを完成させるというもう一つの大きな目標があると思います。その目標を達成させるためには、個人プレーは許されません。動きを揃えるところは揃える、順番があるときは順番を守るというようなルールやマナー、約束はしっかりしておかないと折角の表現は台無しになってしまいます。集団で他の人のことも考え行動することからも、やる大きな意味があると思います。

ここまで、お話しさせていただいたことを踏まえて、当日は演技を御覧いただければと思います。

最後にお願ひがあります。当日は、コロナ禍ということで、大変申し訳ありませんが、事前に御連絡しております通り、各御家庭2名までの参観をお願いいたします。「運動会入場許可証」（9月5日付で配布してあります黄緑色のプリントに付いています）を御持参の上、入口受付にて御提示をお願いいたします。午前9時以降は、安全管理のため東門は閉じさせていただきますので、西門を御利用ください。子供たちの安心・安全のために、御協力いただきますようお願いいたします。

また、学校および周辺での喫煙、車両の駐停車など、近隣の皆様にご迷惑がかからないようお願いいたします。誰にとっても気持ちの良い運動会になればよいと思います。